

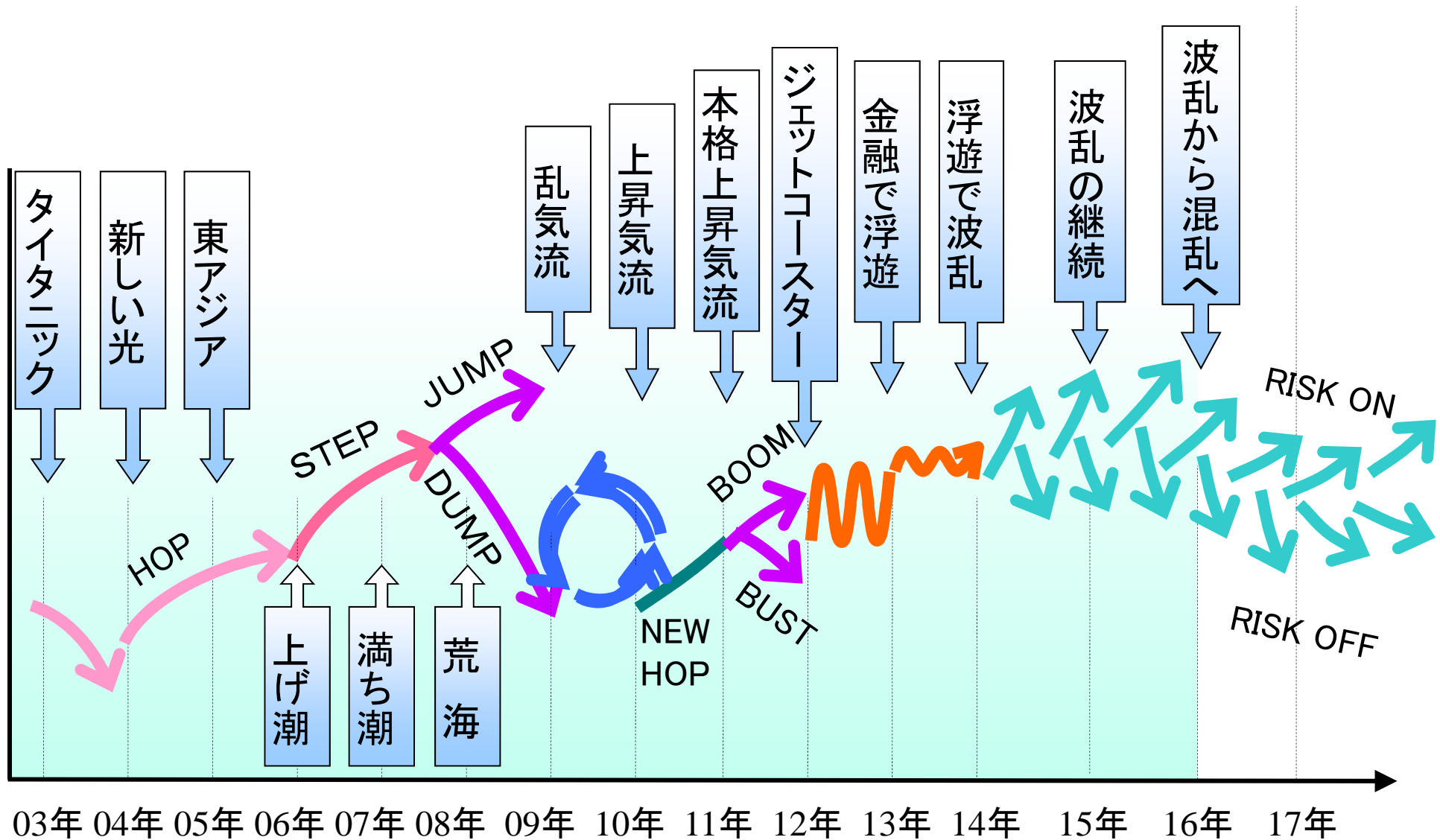
日本復活の時！第四次産業革命をチャンスに
—洞察力・構想力・実行力で勝機を捉える—

2017年3月3日

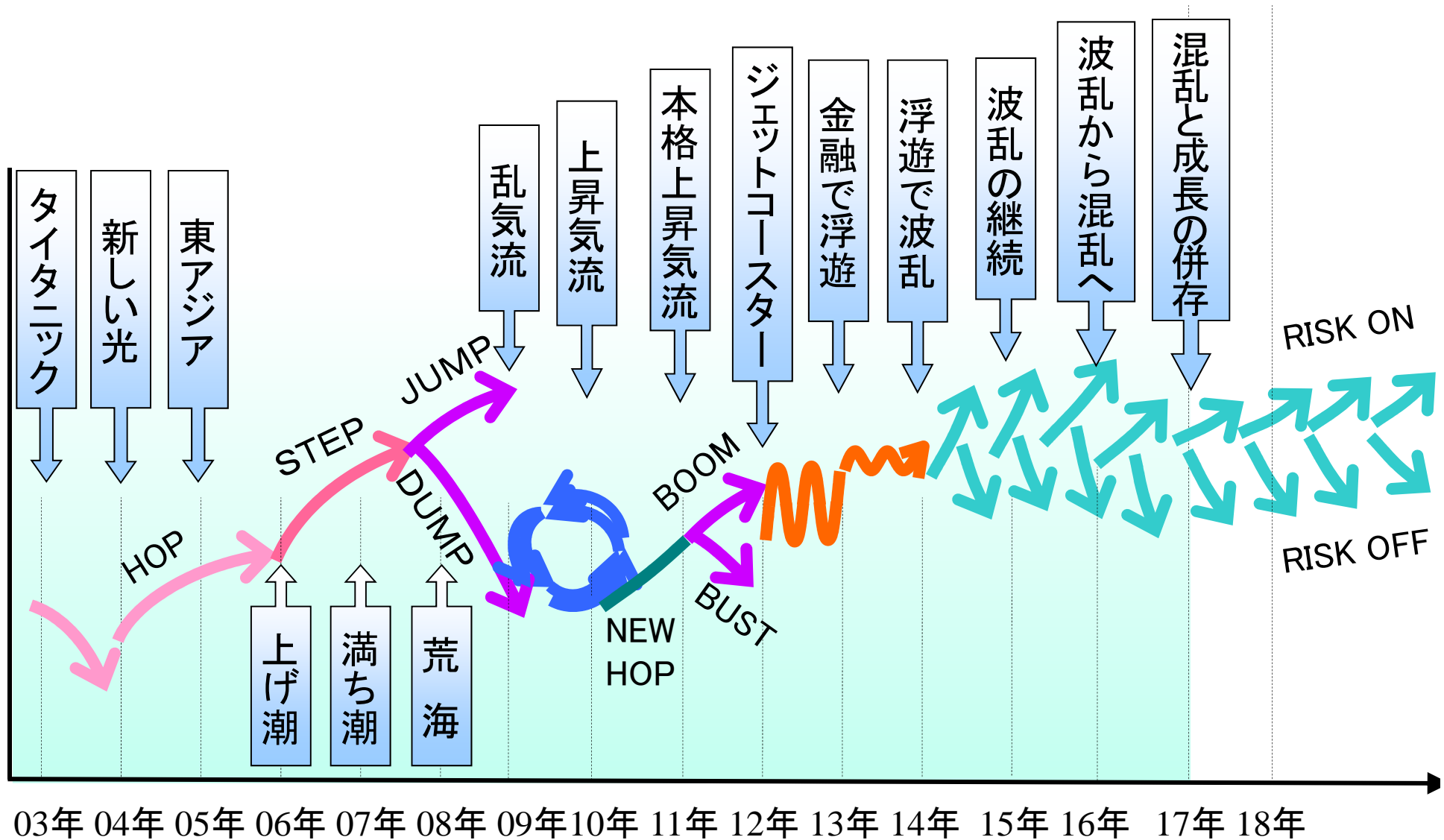
イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野 睦典

波乱から混乱へ (2016年2月講演資料より)



混乱と成長の並存



2016年を振り返る(前半波乱・後半回復)

前半:1月早々 中国経済不安で世界同時株安
6月には BREXITの成立もあり世界経済不安が深化
⇒ 日本経済は、安全通貨の円に資金流入加速
円高進行。更に、デフレ進行により消費低迷
が続く

後半:米国経済が強含みに転じてくる。その結果、利上げ
観測が出てくる
原油価格も底打ちにより、途上国経済も回復へ
⇒ 日本経済は、円高一服により回復基調に
株価も大きく上昇へ

2016年11月:トランプ政権誕生
⇒ 世界的に、「政治的な不安定性」と「経済の活
性化」が併存する時代に

政治の不安定化の懸念

① 保護主義の台頭

トランプ政権、英国のBREXIT、EU
各国での相次ぐ選挙

② EUの金融危機懸念

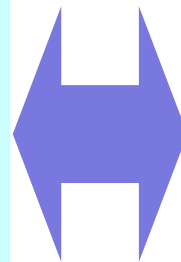
ギリシャ、イタリアなどの銀行問題

③ 新興諸国の経済破綻懸念

アメリカの金利引き上げで資金の引
上げによる悪影響

④ 異端国家・集団の暴走懸念

北朝鮮、ISなどの極端な行動の可
能性



経済の活性化の進展

① アメリカの成長力の高まり

規制緩和とインフラ投資の活発化
大幅な法人税率引下げ

② 新興諸国の高い成長力の維持

引続き高い成長ポテンシャル
原油など資源価格の安定化の恩恵

③ 第四次産業革命のインパクト

AI、IOT、ロボット、VRなどの新しい
推進パワーが出現
製造業を巻き込んだ壮大なスケールで
展開し、日本にとってのメリット膨大

IE 第四次産業革命とは

	エンジン	目的
第一次産業革命	蒸気機関	機械工業化
第二次産業革命	電気エネルギー	大量生産
第三次産業革命	コンピューター・情報	知識・情報
第四次産業革命	AI・IOT・ロボット ナノゲノム・バイオ	知恵・人間の解明 生命の解明



第四次産業革命の日本にとっての意義

—25年振りに日本が産業創出をリードする時代に—

～1990年 : 日本の産業が世界をリードした時代

90～2015年 : 日本は、攻めず・守れずゼロ成長時代

- ・ネットワーク・ソフトウェアなどの成長産業はアメリカがリード役となった
- ・日本が得意とするアセンブリー型製造業は韓国・台湾・中国が奪っていった
- ・日本に残る優位産業は、部品・材料産業のみに

2015年～ : 日本の優位産業を活用しつつ、大きなスケールで日本の成長復活へ

第四次産業革命をリードする4つの先導技術

—日本の得意技が活きる—

センシング、ICなど、日本の得意技が活きる

① IOT
(全てのモノを情報化する)

機械、制御など、日本の得意技が活きる

② ロボット
(人間活動を代替する)

基盤技術
・同部材

電子・光技術など、日本の得意技が活きる

③ AR・VR
(モノと情報を一体化する)

AIは何でもOK。集まる情報量で勝者が決まる

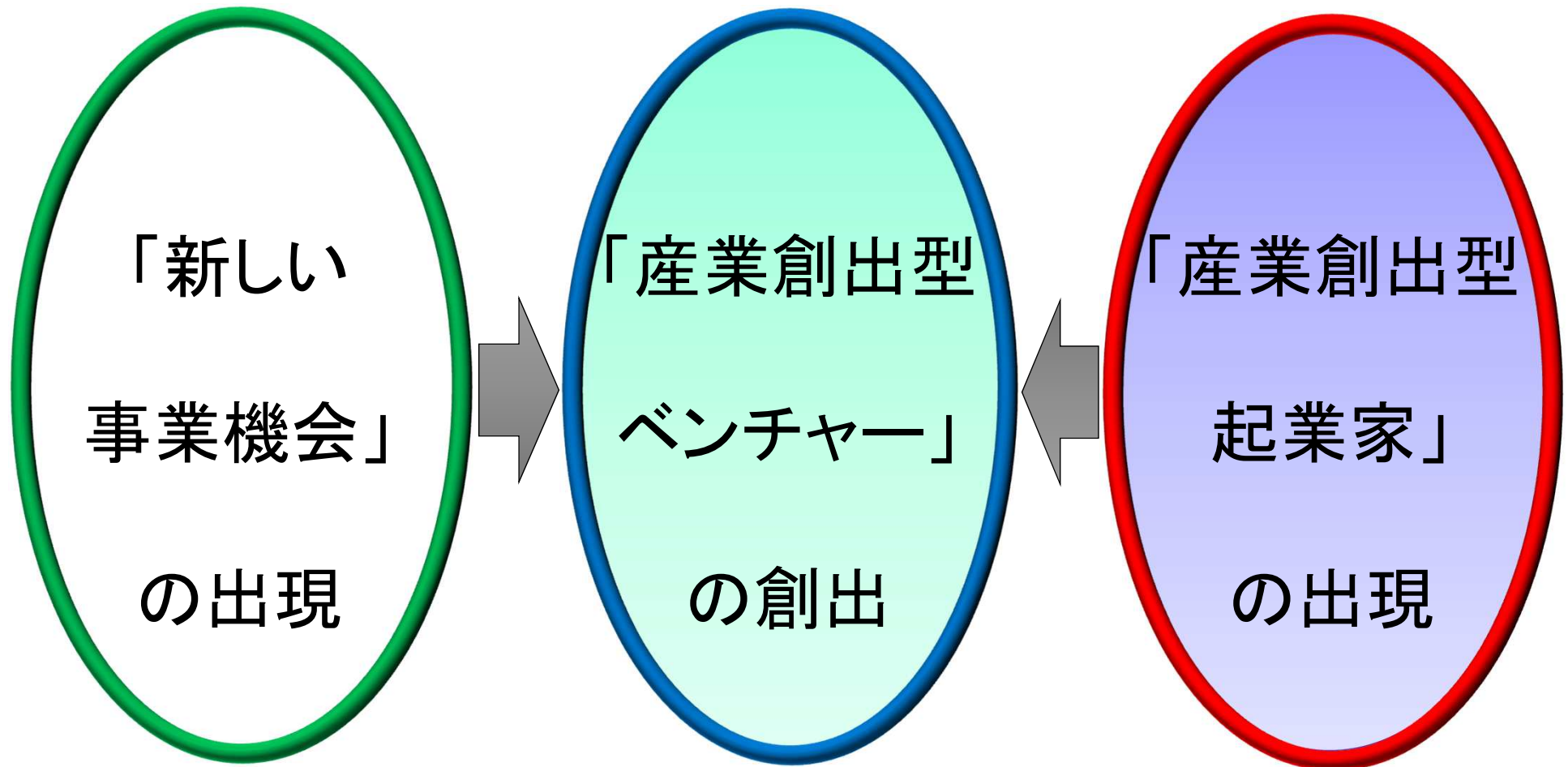
④ AI
(知恵を代替する)

第四次産業革命から生まれる新産業群



「産業創出型ベンチャー」の創出

「新しい事業機会」の出現を、いち早く洞察した「起業家」により「産業創出型ベンチャー」が創出される。



「産業創出型起業家」の資質

- ① “夢”の大きさ・“思い”の深さ
- ② 洞察力（切り口とタイミング）
- ③ 構想力
- ④ 経験知に基づく目配り力
- ⑤ 実現へのリーダーシップ
- ⑥ スピード
- ⑦ 数値達成能力

「産業創出型ベンチャー」成功のポイント

事業機会

- ① 洞察力のあるソリューション
- ② 構想力に富むビジネスモデル
- ③ 強力な事業機能群
- ④ 圧倒的なコンピタンス
- ⑤ 未来へ向けての先行投資
- ⑥ リーダーシップ&コミットメント
- ⑦ 高収益性・高バリューの実現

強味

夢

五つの競合